

飯山市教育懇談会（泉台小学校区）発言要旨

平成28年11月11日（金）泉台小学校ランチルーム

参加者18名

1. 開 会

2. あいさつ

自己紹介

3. 説 明

- (1) 『飯山市教育大綱』について
- (2) 『家庭学習のすすめ』について
- (3) 飯山市児童・生徒の現状と課題について
- (4) 泉台小・城北中学校の現状と課題について
- (5) 学校別児童生徒数推移
- (6) 中学生の進路先について

4. 懇 談

○学力と運動する子としない子との関係はあるのか。

（教育委員会）

相関はあると考えます。例えば、球技を通して全体を見渡せる子はしっかりと物事を考えられる子、判断のできる子であり、そういう面での相関関係はあると思います。ただ、基礎体力と学力の関係はわかりません。

（学校）

きちんとしたデータに基づいてのお話ではありませんが、部活動顧問経験者として述べさせていただくと、運動のできる子は学力的にも高い子が多いのかなと感じます。もちろん運動神経が良くてもテストで点数の取れない子どもいます。ただ、（運動ができる子は）考える力は優れていると感じます。必ずしもテストで点数の取れることイコール考える力ではないとは思っており、考える力がある子は運動神経を克服してその競技の特性を理解しながら、自分はどうすれば上手くなれるのか考えているように感じます。

○家にコンピュータ類のものがなくて、学校で導入し、教えていただくと大変うれし

い。32年度までに（ICT）実現したいのが5校とある。木島小には既に（ICTが）導入され、そのための先生も配置されたと聞いているが、授業で活用されていると聞こえてこないがどのように進んでいくのか教えてほしい。

（教育委員会）

ICT整備に関しては、教育大綱では平成32年度目標5校導入となっていますが、出来るだけ早い時期に整備したいと考えています。予算の関係もありますが、1～2年の内に全校に整備したいと考えています。中学校の関係は今年度予定しています。LAN工事、タブレット購入等これから今年度中に整備予定です。

木島小学校では、例えば生活科、総合的な学習の時間等でタブレットをデジカメとして撮影し、子ども達全員が互いに見て共有化しています。1年生では算数の電子教科書を購入し、大きなスクリーンに図形等を映し出し問題を解いています。校内無線LANを活用し、社会や理科の時間に教室でインターネットから情報を収集し、自分たちの問題解決に役立てる等の使い方をしてしています。

11月29日には、木島小で授業を行い市内の先生方に集まっていただき、どういうことに使っていけばより効果的なのか、さらに学習に活かしていけるのかということ进行研究する研究会を行う予定です。

○中学校での（ICT教育の）様子も教えてほしい。

（教育委員会）

中学校については、今年度中にLAN工事を行い、タブレットは1学校で1クラス分の台数（30～40台）を導入予定です。小学校も1学校1クラス分のタブレット台数を考えています。中学校は年度末から使用できる予定です。

○携帯電話については学校としてどのように指導していくのか教えてほしい。

（学校）

中学校では携帯を持たせる必要は無いと考えています。この背景にはラインでのいじめや悪口の書き込み、知らない人と出会い系サイトで知り合ってしまう危険性があるので、基本的には携帯を持たせないでくださいと保護者の方へお願いをしています。ただ、現実には持っている子が多いので使い方について、毎年防犯教室を学校で年2回開催し、子供たちや保護者にお話をさせていただいています。

○ライフスタイルが変わってきている。親が子どもと接する時間が非常に少ない。今後少子化が進むがどうなっていくのか。子ども達を地域で支えることが大事な事だが、なかなか地域としても自分の生活が精一杯という面もある。教育的な立場としてこれから（子ども達を取り巻く環境が）変わるような要因はあるのか。

（教育委員会）

非常に大きな課題。市では子ども館の設立で理想的な形に少し近づくと思いますが、地域としては、例えば放課後教室等、学校の先生の力だけでは限度があります。地域の力をお借りしながら子ども達を地域全体で見守る形が必要な時期が来ると思います。将来に向かっての展望について考える時期にきていると十分認識しています。

私の孫も児童クラブでお世話になっています。祖父母がいるので、子供の面倒が見られないわけではないがそれぞれに仕事があり、年寄りが見ればよいと簡単にはいきません。児童クラブに非常に感謝しています。家庭的な雰囲気を持ちながら指導すべき点は指導し、宿題を終わらせてから遊ばせる、遊び友達も多い、児童クラブはありがたい存在です。施設整備や人員の問題を含め考えていく必要があります。

○ボランティア等第三者が参加することは可能だが、何かあった時にどうするのが一番心配。ボランティアとして参加したい人は沢山いると思う。参加できるような受け皿づくりをもっと構築していただければ参加者が増えるのではないかと。

（教育委員会）

ボランティアとして一方的なお願いでは通用しない時代になってきています。コミュニティスクールの活動としては、例えばボランティアに保険を掛けたり、ボランティアの方が安心して活動できるような仕組みづくりも大事であると思っています。ボランティア、イコール無償であるという考えも厳しい時代になってきていると理解しています。

○少子化が進んでいるが、学校統合はどのように考えているのか。

（教育委員会）

ここ4・5年は統合を具体化するつもりはありません。少なくとも今の泉台小学校は十分今の人数で教育成果を出していると理解しています。ただ10年15年先までこのままで良いのかという点は申し上げられません。来年ぐらいまでには市の長期的な教育に

について考える組織をつくりじっくり検討したいと考えています。

○子どもが増えている島があると聞いた。町に仕事がある。教育特区的な事は考えているのか。

(教育委員会)

人口減少を食い止める施策の一つであると考えます。山村留学を行っているところを調べたが、子どもを受け入れるには地域の力が必要で、地域にそれだけの力がないと山村留学としての受入れは難しい。それと、子育て世帯一世帯がそろって飯山へ来ていただくのが理想であるが、仕事をどうするのが大きな課題。飯山市は教育環境としては申し分ない。飯山市の学校に来れば学力も体力もよくなりますよと早くPRできるようになってほしいというのが願いです。

○学校の先生は非常に忙しい中で、音楽会・運動会の練習に加え、ICTやコミュニティースクール、英語教育等が入ってくる中で、どのように限られた時間内に行うのか、非常に危惧している。家庭学習を進めているが、家庭学習ができない子はできる子と学力の差が出るのではないか。

(教育委員会)

家庭での差をどうカバーするのか。これからは児童センター、児童クラブでは遊ばせるだけでなく、ある一定時間学習の時間を設けて、そこで学習をせざるを得ない状況もくると思います。現にある自治体では補助員として先生方のOBをお願いをして生徒の学習をみているところもあります。

運動会、音楽会は、忙しくてもこの二つは学校で行うことが、先生方が頑張る気になるし、この頑張りが生徒に伝わり素晴らしい合唱や素晴らしい運動会が終わった後の何とも言えないあの気持ちを、小学校・中学校の時に体験することが、その後の人生に影響がでると思う。是非この二つは学校行事で無くすわけにはいかないと思っています。時間的な課題は頭を悩ませています、最悪の場合土曜日授業を再開するのか、年間授業数を増やすのか、いろんなところまで踏み込まざるを得ない状況にあります。

学校現場が忙しくなっているのは事実です。行事の見直しは大事な要素です。音楽会、運動会以外の他の行事で減らしてもよいものがあるのではないかと、現場では検討しています。

再来年から英語授業の先行実施ができるようになりますが、5・6年生は週2時間のう

ち1時間を生み出せない状況です。これは飯山だけでなく日本全国同様です。土曜日に行うのか、夏休みに集中的に行うのか、15分の朝ドリル的な授業を週三回行うのかどれかですが、大変苦慮しております。

子ども達の学習をどう保障するのかという点ですが、市内でも放課後スクールとしてボランティアに協力いただき、学校で下校後宿題を行う取り組みをしている学校があります。十分検証して活かせるのであれば、他の学校でも活かしていきたいと考えています。

○前回の教育懇談会時に、中学校で不登校になった生徒の話があり、教育から福祉の窓口へ、というお答えだったと思うが、今後教育から福祉の窓口へとは具体的な親の対処の仕方を教えていただきたい。

(教育委員会)

中学卒業後高校へ進学し、途中で思うようにいかなかった子ども達が何人かいます。現在新制の不登校に対応した学校もありますので、そういう学校としっかり話し合いをして、例えば学資の援助などを福祉の方で現在考えています。中学卒業後は義務ではないからもう関係ないという形はとっていけないと考えています。中学卒業後、高校へ行き最低限自立ができるレベルまで、子ども達へのバックアップが必要だと考えます。福祉の窓口というのは、そういう制度をしっかりと整え、子ども達がより力をつけて自立できる方向性を導いてあげるのが大きな役割だと考えます。教育委員会でも検討している段階です。

相談窓口は福祉でも教育委員会でもどちらでも構いません。相談できるところへ気軽に相談してほしい。遠慮しないで、窓口は学校でも市役所であっても連携しているので、安心して相談しやすいところへご相談いただきたい。

中学卒業後であっても中学は関係ありませんとはなりませんので、しっかり後任者が対応しますので、相談しやすいところへ相談してください。